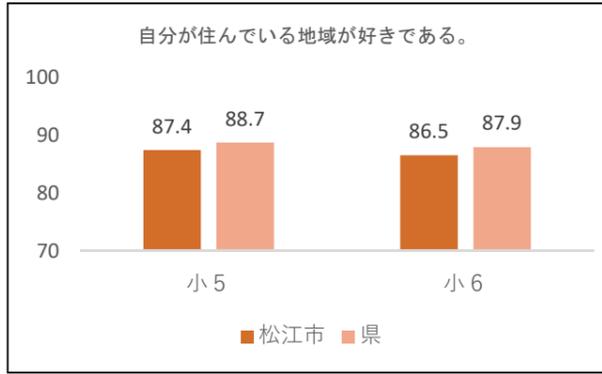
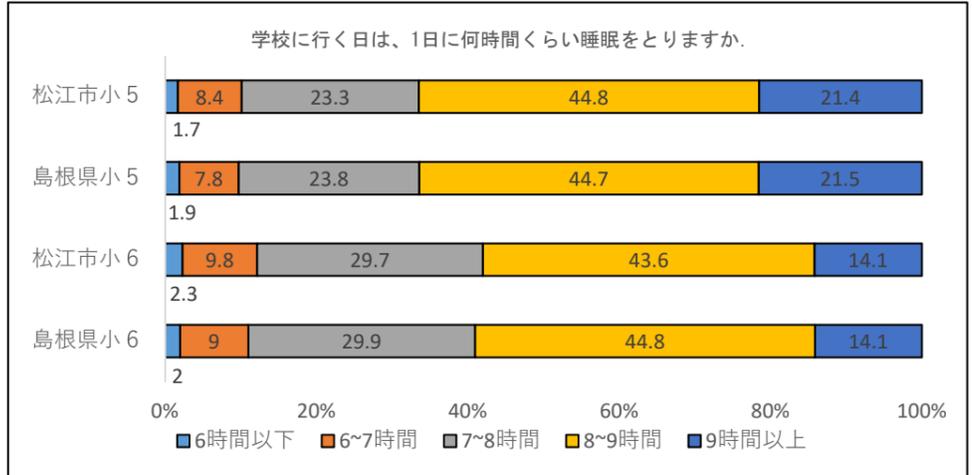


1 生活行動に関する質問から

・自分が住んでいる地域に愛着をもっていると感じる児童の割合が高い。



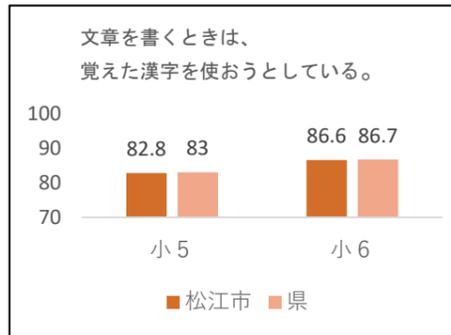
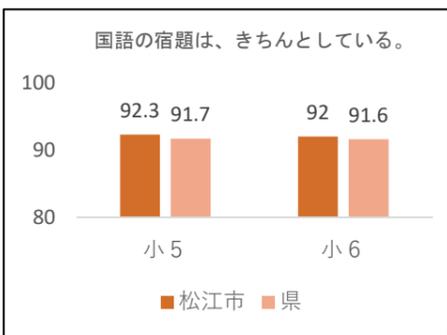
・平日の睡眠時間が8時間以下の児童が、5年生では30%、6年生では40%を超えている。適切な生活リズムと睡眠時間の確保についての指導を続けるとともに、家庭と連携した取組を行う必要がある。



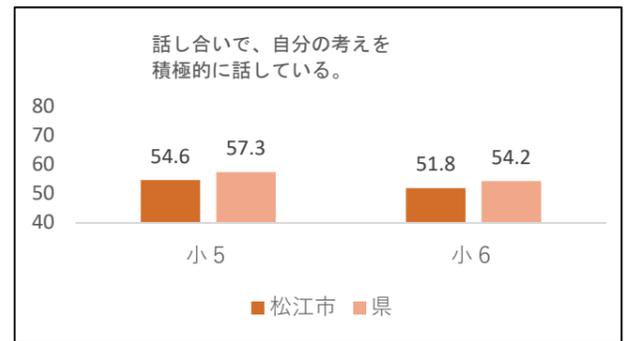
2 教科の学習活動に関する質問から

①国語

・「国語の宿題は、きちんとしている」「文章を書くときは、覚えた漢字を使おうとしている」といった項目の肯定的な回答の割合が高い。

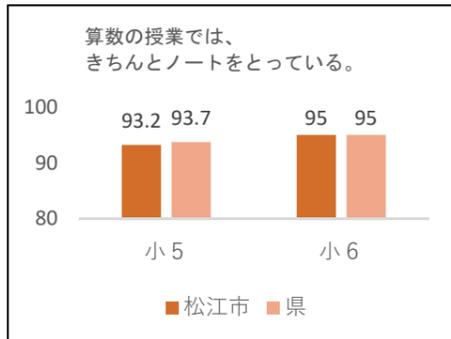
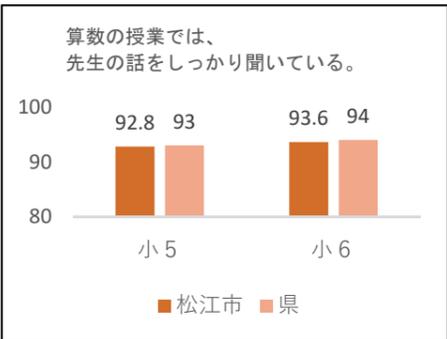


・対話的な学習場面を設定する際に、児童が自分の思ったことや考えたことを進んで話したくなるような題材設定や指導方法について工夫する必要がある。

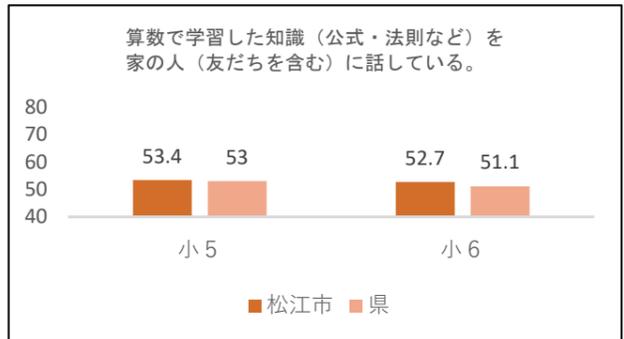


②算数

・「算数の授業では、先生の話をしっかり聞いている」「算数の授業では、きちんとノートをとっている」といった項目では、ほとんどの児童が肯定的な回答をしている。

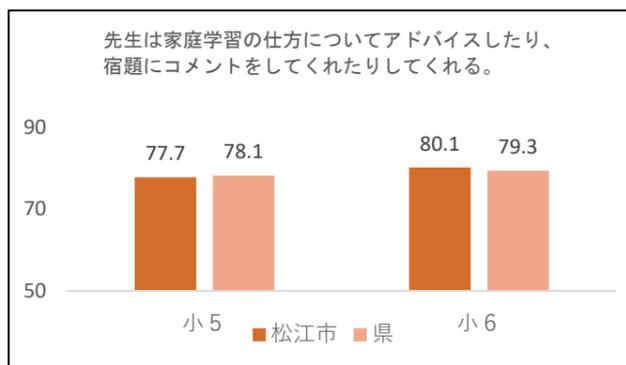


・算数で学習したことについて、家族や友達と話題にしたくなるような題材の設定や単元構成、授業の展開などについて工夫する必要がある。

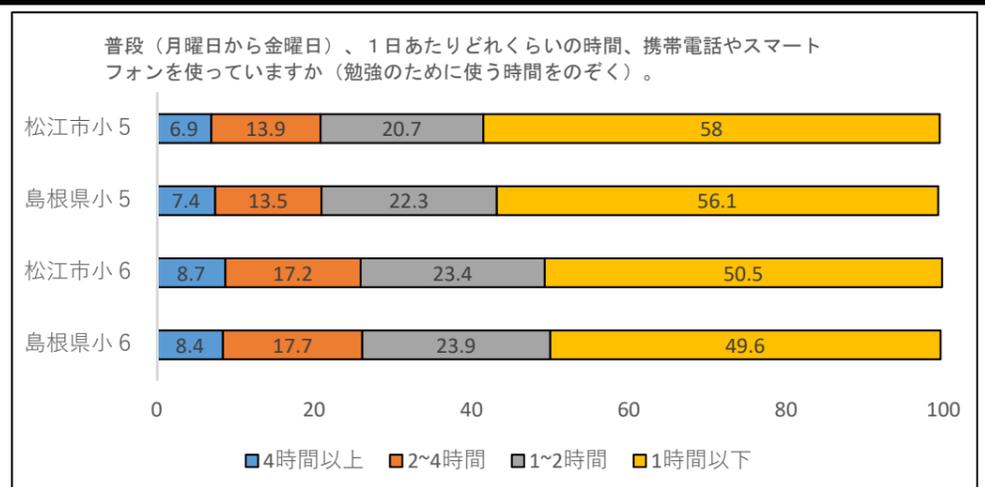


3 県独自の質問項目から

・家庭学習について、効果的な方法をアドバイスされたり、丁寧に確認されたりしていると感じている回答の割合から、各校における丁寧な指導がうかがえる。



・平日に携帯電話やスマートフォン等を学習以外で使用している時間が2時間を超える児童が、5年生では20%強、6年生では25%強である。メディア接触に対する指導や啓発を図るとともに、今まで以上に家庭と連携した取組を行う必要がある。



4 全体を通じた現状や課題、今後の取組について

○本意識調査結果の分析をもとに、以下のような取組（☆）を行う。

- ・新学習指導要領に基づいた学びの確立 …「主体的・対話的で深い学び」が実現するような授業改善に向けた取組
  - ☆学校訪問指導や教職員研修のさらなる充実
  - ☆地域の素材やICTを有効に活用した授業づくりへの支援
- ・電子メディア活用の工夫 …「1人1台端末」を用いた学習や家庭における適切なメディアとのかかわり方についての取組
  - ☆各学校における端末利用と情報モラル教育の推進
  - ☆家庭でのスマートフォン等の利用に際した家庭、学校、学園でのメディアルール作成
- ・基本的な生活リズムの確立 …「早寝・早起き・朝ごはん」を基本とし、子どもの健やかな心身の成長を目指す
  - ☆家庭学習の習慣化と子どもの過重負担とならないような工夫、家庭との連携